

今週のビルマのニュース 2009年11月27日【0944号】

東京でシンポジウム 亡命政権からも大臣が参加

・ビルマ民主化実現への道筋を話し合う国際シンポジウムが23日、都内で開かれた(主催：国民民主連盟(解放地域)日本支部、後援：連合、ビルマ市民フォーラムほか)。主催団体は、今年4月にビルマ国内の国民民主連盟(NLD)が発表した「シュエゴンダイン宣言」を、日本を含む国際社会に支持してほしいと訴えた。福山哲郎外務副大臣、福島瑞穂・社民党党首(消費者・少子化担当相)も出席。

【解説】シュエゴンダイン宣言は、軍政が来年実施を予定している総選挙についてのアウンサンスーチー氏率いるNLDの公式見解表明文書。軍政が全政治囚の釈放、2008年憲法中の「民主的原則に反する条文」の改定、国際選挙監視団の受け入れという条件を満たせば、選挙への参加を検討するとしている。

・ビルマ国内のNLD役員で、自身も政治囚として19年間獄中にあったウィンティン氏が、シンポジウムの開催を歓迎するメッセージを寄せた。ビルマ連邦国民連合政府(亡命政権)からはクンミントウン大臣が出席し、憲法が改定されずに総選挙が行われたら、日本政府は結果を承認するべきでないと述べた。

ミャンマー民主化議連が役員を改選 末松氏が会長

・超党派の「ミャンマーの民主化を支援する議員連盟」は20日に役員改選を行い、会長に前事務局長の末松義規議員、事務局長に今野東議員が就任した。両議員とも上記シンポに出席(両議員ブログほか)。

日英首相が電話会談 ビルマ問題も話題に

・鳩山総理は24日、ブラウン英国首相と電話会談を行った。外務省発表の概要によれば、鳩山総理はビルマについて、同国が民主化を一層進めることの重要性を強調しつつ、来年予定の総選挙が重要だというブラウン首相に同意した(24日外務省)。

国連総会委が人権改善決議案を採択

・国連総会第三委員会は19日、「組織的な人権侵害が起きている」としてビルマ軍政を強く非難し、アウンサンスーチー氏を始めとした政治囚の解放を求める決議案を採択した(賛成92、反対26)。

国内最大規模のイエユワ水力発電所が完成間近

・ビルマ国内の週刊誌によれば、ビルマ中央部のイエユワ水力発電所がまもなく完成し、12月中にも試

運転が開始される。電力は国内消費で、設置出力は790メガワットで国内最大(22日新華社ほか)。

189団体がサルウィン川ダム建設に反対

・タイの市民団体など189団体が23日、アピシット・タイ首相宛の書簡を発表し、ビルマ東部を流れるサルウィン川で進められているハッジーダム建設事業から撤退するようタイ政府に求めた。同ダムが生産する電力はタイに輸出される。書簡は、建設により広域が水没し、周辺住民が深刻な人権侵害を受ける恐れがあることを指摘する(23日DPAほか)。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など

今週の発表はなし

イベント情報

・在日ビルマ人共同行動実行委員会ほか 国連事務総長に対しスーチーさんを含むすべての政治囚の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動(国連大学前、24~27日15~16時)

・「ビルマ(ミャンマー)の声を聞く」講師：コラット氏(政治難民) 主催：アムネスティ倉敷グループ(倉敷カトリック教会、28日14時~)

・ビルマ・タイ国境の町で「みらいの法律家学校—ピースローアカデミーでの活動報告」主催：ヒューマンライツ・ナウ、協賛：ビルマ市民フォーラム(青山学院大学 総研ビル9階、27日18時半~)

・第58回ビルマ市民フォーラム例会 ①マレーシアのビルマ難民が受けた人権侵害の証言記録 『HOME』上映—リム・デズリ監督を招いて②在日ビルマ人難民申請弁護団より弁護士渡辺彰悟が最新状況報告(池袋・ECOとしま8階、28日18時~)

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165